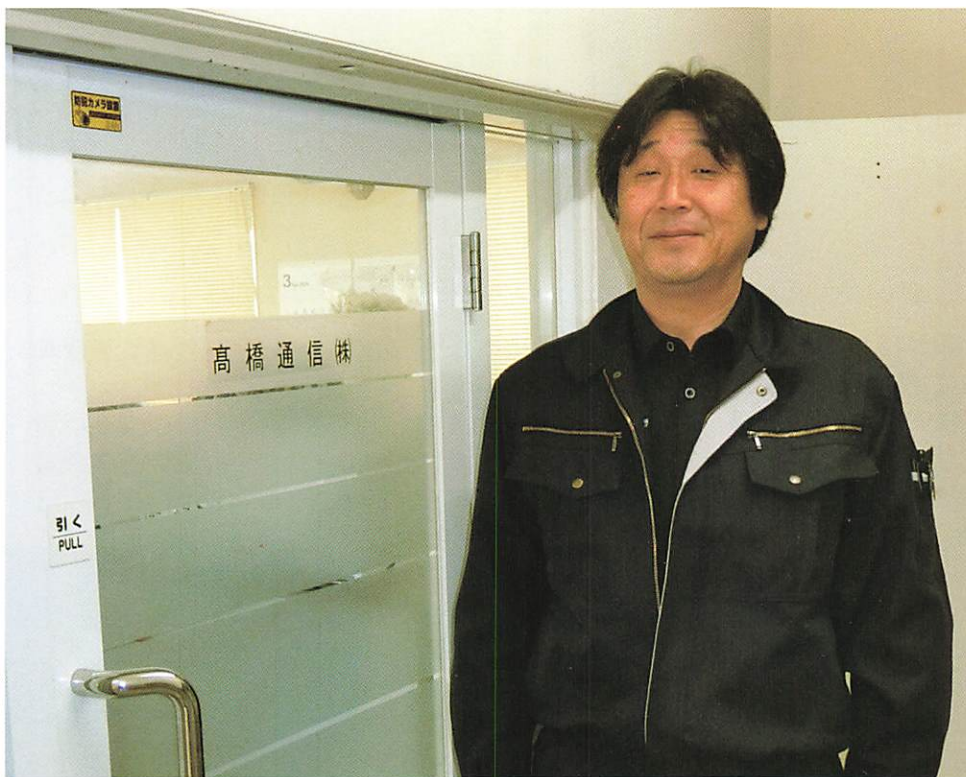


DOYOU

さいたま

同友会の三つの目的 / 良い会社 良い経営者 良い経営環境をめざす



高橋通信株(大宮中央地区会)

高橋 浩一

TAKAHASHI KOUICHI

IT企業でありながらアナログを大切に、業界的に横文字や専門用語が溢れる中、自社独自の対応で人と人の関わりを大切に、お客様の「ありがとう」を追求する経営に取り組まれている高橋氏。

さいたま市北区に本社事務所を構えてはいますが取引先・現場は全国に展開されており、経営・現場作業・飛び込み営業などにも取り組む、辛口の剛毅朴訥の経営者の取り組みを伺いました。

(P7へ続く)

埼玉の元気を創る中小企業家 - 109

【経営理念】

- ・最高の技術と素早い対応で安心出来る通信環境を提供します。
- ・全ての取引先と協力して共に信頼できる会社を作ります。
- ・社会に対して自慢できる会社を作る為に目標を持ち成長していきます。

2019-9 September
VOL.498 毎月1日発行

特集

同友会理念の総合実践で持続可能な未来を築こう
中同協設立50周年
中小企業家同友会全国協議会 第51回 定時総会in東京
認めあい、高めあい、生かしあう関係づくりの実践を!
第22回 女性経営者全国交流会in広島

<http://www.saitama.doyu.jp>

社長の®
学校

中同協設立50周年 中小企業家同友会全国協議会 第51回定時総会 in 東京

同友会理念の総合実践で 持続可能な未来を築こう

◆日時:

7月4日(木)～5日(金)

◆会場:

京王プラザホテル

中同協設立50周年記念の中同協第51回定時総会が7月4～5日、「同友会理念の総合実践で持続可能な未来を築こう」をスローガンに、東京で開かれました。47都道府県から1762名が、埼玉からは72名が参加しました。

1日目は、開催地を代表して湯本良一・東京同友会相談役が、「日本の平和で安定した社会を支えているのは中小企業。労使見解に学び研鑽し、その社会的価値を高めよう」と挨拶、次に主催者を代表して広浜泰久・中同協会長が「先輩が築いてきた同友会運動の先進性と普遍性に誇りを持って、体現し、地域や世界に広め、強靱な組織をつくるという使命がある」と挨拶後、安倍晋三・内閣総理大臣や各政党・各界からのメッセージが紹介されました。

続いて、19の分科会に分かれ、実践事例に学びながら議案を深めました。

祝賀会では入会50年となる会員が紹介され、和エンターテインメント集団「舞鼓刀塾」による催しが行われました。2日目は、三宅一男・東京同友会代表理事の挨拶の後、

議案、予算を採択し、別府信太郎・東京同友会副代表理事が総会宣言を読み上げ、満場一致で採択されました。

50周年記念式典では、関芳弘・経済産業副大臣と小池百合子・東京都知事が挨拶し、その後特別企画「同友会運動のさらなる発展に向けて」と題して、4氏が報告、続く記念講演では、「同友会は経営者の宝島」をテーマに橋本久美子氏(株)吉村代表取締役社長が報告しました。

最後に、次年度の総会開催地である守和彦・北海道同友会代表理事の閉会挨拶で閉幕しました。

埼玉同友会から参加された会員からの報告を以下にご紹介します。



▲記念講演講師：橋本久美子氏

【第6分科会】(大分同友会)

『障がい者雇用』こそ『良い会社』になるチャンス

報告者：安部征吾氏(大分デバイステクノロジー(株) 代表取締役)

第51回定時総会の障害者問題の分科会の報告をさせて頂きます。

「私は障がい者雇用とは対極の代名詞でした」と仰しゃる大分同友会の安部さんのご報告です。

2代目として社長就任後すぐに同友会に入会されて数々の役を経験されてた同氏をもってしても障がい者雇用は全く関係ないと思っておられたようです。が、特に否定するわけ



でもなく、単に考えた事がなかっただけのようでした。

同友会の仲間(私のグループ長でした…)や、すぐ近くの支

援学校の先生の勧めもあって、じゃあやってみよう、というのが始まりだったようです。雇用を行うにあたって、社員さん達との意識の共有を行うことで理念が浸透します。

その中で重要なことは自社の存在意義の再確認でした。経営理念です。社員一丸となった環境下で障がい者雇用がデメリットになるはずもなく、型にはまった物ではなく形を変えられる、おらかな対応ができるようになります。社長の想いだけでなく、想いが浸透して社員と共に成長することが出来ます。社員共育です。障がい者雇用をするにあたって仕事の細分化を余儀なくされますが、それは働き方改革に繋がり、バックアップ人材の育成という、個人に依存しない仕事のあり方を技術職の現場において実践されます。

ターゲットの決まった採用は常に行われます。共同求人です。「なんと三位一体になってるんですよ」と、氏は仰られます。そして社員さんの声を聴く機会が多くなり、人間尊重の経営へとつながってゆく、とも。障がい者雇用を実際深く考えることなくやってみて、紆余曲折を重ねられ同友会の理念の深さを知り、その上でチャンスだからやってみなよ、と鼓舞していただきます。

『You、やっちゃんよ!』安部さんが僕たちに伝えてくださったメッセージです。障がい者雇用はボランティアじゃない。少しいい。一歩だけでもいいから踏み出してみ。必ず自社にメリットがあるから。いやメリットしかないんだ。と。つまり三位一体整った人間尊重を軸にした強靱な経営体質になれるチャンスなのだとして理解しました。

最後の質疑応答で、「大変だったことは?」という質問に対し、一言「ない」と。大変さを感じた時にまた成長できるので楽しみですね。と仰られていたのも大変参考になりました。G討論では、テーマに対する内容は報告に網羅されているので、各地域での取り組みを知ると共に持ち帰って実践しようという話に終始しました。

私自身の立ち位置を見つめなおす事のできたいい経験をさせて頂きました。(東部地区会 出雲 武 記)

【第10分科会】(京都同友会)

条例制定の陰に「地域経済ビジョンあり」

～会内外への提言と地域活動が支える制定運動～

報告者: 宿野秀晴氏<Medico-tec(株) 代表取締役>



私がこの分科会を選んだのは、2000年にヨーロッパで[think small first](小企業を第一に考える)というヨーロッパ小企業憲章が制定され、それを基に2003年から中同協が中小企業憲章と中小企業振興基本条例の制定を活動方針に掲げ、憲章条例推進本部を中心に取り組んで来た為でした。2009年に中同協が「中小企業憲章草案」を発表するなど運動を展開する中、2010年に「中小企業は、経済を牽引する力であり、社会の主役である…」という前文から始まる中小企業憲章が閣議決定されました。

2011年から、中同協が憲章・条例の立場から日本社会の抱える課題を捉え、解決の展望を考える為に作成した「中小企業の見地から展望する日本経済ビジョン」は数次にわたる改訂版が出されました。

今年の6月5日の「中小企業家しんぶん」にも掲載されましたように今後は地域経済・社会が存続してこそ国が成り立つという「地域経済ビジョン」策定を次の展開として、各地同友会として進めていこうという方向性が打ち出されました。その先駆けとして京都同友会は、現在、市内に11の行政区があり、夫々に支部では単発的で継続的な取り組みにはなっていましたが、2011年辺りから区役所と支部との関係を強化する動きが出てきて、2016年には全ての支部が区役所との関係が構築されるようになりました。その後、中小企業振興課が発案して中小企業が持続的に発展していく為に多様な業種の若手経営者が集まり、横断的に議論し、現場の声を反映した実効性のある振興策を検討・推進していく場として「京都市中小企業未来力会議」が設置されました。

その未来力会議では、他の経済団体などと一緒に地域経済と中小企業の発展の為に議論を進めています。そして昨年、「人と自然と地域を大切に、地域に根差し、地域と繋がり、地域と共に継承・発展する『地域企業』である。その自覚と誇りを胸に、京都から日本、世界、そして未来を見据える活動をしていく事を宣言する」という「京都・地域企業宣言」を発表しました。その様な経緯で地域経済ビジョン(京都版)が作成されました。改めて京都同友会に敬意を評すると同時に、埼玉でも時間は掛かると思っていますが前向きに検討する価値があると感じました。

(川口地区会 新井俊雄 記)

【第12分科会】(長崎同友会)

仲間づくりは誰のため?増と強で、強い組織づくりを!

～課題から見えてきた「顔の見える支部活動」

報告者: 原田良太氏<社会福祉法人 宮共生会 理事長>

村上敦子氏<株式会社 村上彫刻 専務取締役>

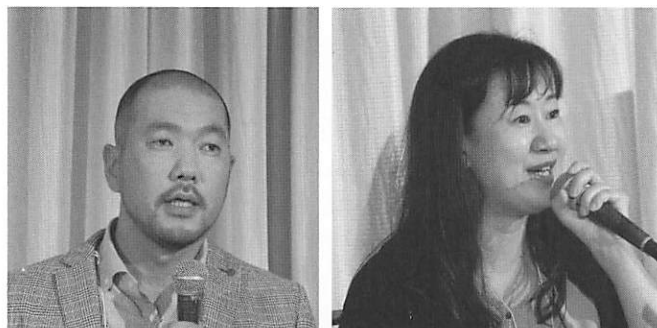
会員増強がなかなかできない問題は多くの支部(地区会)で抱えています。長崎同友会佐世保支部の原田氏は2017年の支部長時代に36名の会員純増を成し遂げ全国1位となりました。以前から順調に会員数を伸ばしてきた支部でしたが、一方で「例会参加率の低迷」「支部活動への参加が全くないまま退会する会員がいる」問題を抱えていました。そこで「顔の見える支部活動」の方針を掲げ「会員間の交流」「新入会員へのフォローアップ」に力を入れました。

多数の増員に成功した要因の一つに、数字だけを追いかけるような「仲間づくり」はしなかったことを挙げています。なぜ仲間づくりが必要か?①辞書の1ページが増える(新入会員の入会=新たな師を迎えること)②会の活性化(新入会員の入会=停滞していた空気が動き出す)③数は力(社会的なステータスが上がる)④多面的な活動が可能に(会員の要望にも柔軟な対応が可能)この4つのポイントを支部のメンバーに何度も丁寧に説明し、多くの協力者を得たそうです。

何の為の仲間づくりなのか?それはよい会社をつくり、よい経営者となるため日々研鑽を積んでいる中小企業家同友会の仲間を増やして、会社の事、地域の事、仲間の事を考える人が増えること。このことによって必ず自社の経営環境が良くなっていきます!

明日から実践したくなる原田氏と村上氏の熱い報告でした。

(川越地区会 井上敏郁 記)



7月20日は中小企業の日、 7月は中小企業魅力発信月間に決定

6月14日、中小企業庁は毎年7月20日を「中小企業の日」、7月の1カ月間を「中小企業魅力発信月間」とすることを発表しました

中同協およびいくつかの同友会では以前より「政策要望・提言」などで毎年「中小企業の日」制定を求めてきましたが、それが実現したものです。

「中小企業の日」、「中小企業魅力発信月間」制定のねらいは「中小企業・小規模事業者の存在意義や魅力等に関する正しい理解を広く醸成する機会を国民運動として提供していく」となっています。

7月20日は中小企業基本法の公布・施行日であることから、「中小企業の日」および「中小企業魅力発信月間」がこの日程・期間で定められたものです。

中同協は、2003年から中小企業憲章制定運動を進め、2010年には「中小企業は、経済を牽(けん)引する力であり、社会の主役である」とうたわれた中小企業憲章が閣議決定されました。「中小企業の日」、「中小企業魅力発信月間」が制定されたことにより、中小企業の果たす役割や重要性への理解がさらに社会に広がることが期待されます。

今後、関係省庁や関係団体などにより地域の中小企業・小規模事業者にかかわるイベント(シンポジウム、セミナー、商工祭など)が開催される予定です。この関係団体の1つとして、各中小企業団体とともに中同協も登録されています。

「中小企業の日」および「中小企業魅力発信月間」についての詳細は以下の中小企業庁サイトを参照下さい。

<https://www.chusho.meti.go.jp/soudan/day.htm>



7月20日は中小企業の日

『中同協50年史—歴史と理念に学び未来を ひらく』が発刊されました

1969年に設立された中小企業家同友会全国協議会(中同協)は、本年50周年を迎えました。設立50周年を記念し、『中同協50年史—歴史と理念に学び未来をひらく』が発刊されました。

発刊にあたり、編さん委員長でもある中同協広浜泰久会長は、「刊行のことば」で、先人の築き上げてきた理念とそれに基づく運動が先進的かつ普遍的なものであることを再認識できたことを強調。私たちは今日の到達点に立ち、同友会運動をさらに発展させる「使命感」を持つてのぞみ、そのためにも本書を今後の運動方向を考え議論する上での「教科書」として大いに活用しよう、と呼びかけています。

「第一部中同協前史」では、戦後復興期の中小企業運動と日本中小企業家同友会の誕生と草創期の運動を展開(第1、2章)。

「第二部中同協本史」は、中同協誕生(第3章)、理念形成と運動の基礎づくり(第4章)、組織の躍進(第5章)、運動の総括(第6章)、21世紀の到達点と課題(第7章)、巻末には「資料集」「年表」「役員名簿」なども掲載されています。

A4判、308ページ、頒価2000円。事務局へお問い合わせください。



第22回女性経営者全国交流会 in 広島

認めあい、高めあい、生かしかう関係づくりの実践を!
～同友会理念の実践で、人・企業・地域をつなごう 未来に向けて～

◆日時:6月13日(木)～6月14日(金) ◆場所:リーガロイヤルホテル広島・ホテルメルパルク広島

6月13～14日、リーガロイヤルホテル広島をメイン会場に、第22回女性経営者全国交流会が開催されました。45同友会と中同協より727名が参加し、「認めあい、高めあい、生かしかう関係づくりの実践を!」をテーマに学びあいました。(埼玉からの参加者は16名)

1日目の分科会では、経営者の姿勢や事業承継、労働環境整備、地域づくりなど7つのカテゴリに分かれ、実践報告、グループ討論から学びました。懇親会は着席形式で行われ、ヴィオール弦楽4重奏団の生演奏や広島の幸、ご当地ゆるキャラたちによるアトラクションなど、五感も楽しみながら交流も深まり、会場は和やかな雰囲気になりました。

2日目の全体会では、栗屋充博・広島同友会代表理事による開催挨拶の後、広浜泰久・中同協会長が主催者代表とし

て「今回の交流会のテーマは、同友会で大切にしている自主・民主・連帯の精神とも重なり、その関係づくりは真の民主主義を形づくる上でのベースになる」と挨拶しました。続いて栗田奈央子・内閣府男女共同参画局総務課長より祝辞が述べられ、座長による分科会報告がありました。

続く記念講演では「同友会理念を礎に、人・企業・地域をつなぎ、未来へつなぐ～地域と共に歩んだ『工房おのみち帆布』20年の物語」と題して、NPO法人工房おのみち帆布の木織雅子氏、島田美鈴氏、岡田友香恵氏のリレートークが展開され、広島同友会女性部の企業訪問からはじまり、尾道の伝統産業を世界に発信する起点として存在感を増していく様子が語られました。

3人のお子さんのママでもある越野さんは、日々忙しく、母親らしいことをしてあげられないことに「ごめんね」ばかりが口にする苦悩の毎日でした。それでも支援を必要とするスタッフと自分の子ども達と一緒に見守りながら頑張っていく中で、成長していく子ども達を見て「ごめんね」じゃなく「ありがとう」で良いのだと気がついたと言います。

肚をくくりどんな時も笑顔で生きる、そんな決意が伝わる報告でした。

グループ討論では、弱みを地域貢献の考えからプラスに転換し販路拡大につながったお話、など、同じ分科会を選ぶ方の話は参考になります。身近な所から語れる女全交の良さと全国の面白さを感じる、これからは地域や行政ともつながりより役立つ企業になる事が求められているという意見ができました。

(埼玉地区会 赤井美津江 記)

【第2分科会】(岡山同友会)

溶接もできない私が板金製造業の社長に!?
～ナイチンゲール精神と「人を生かす経営」～

報告者:門田 悦子 氏

(田中製作所 代表取締役 岡山同友会女性部部长・倉敷支部支部長)

パブルが崩壊する直前、田中製作所創業者の父が他界し母が会社を引き継ぐ事になった。

その頃、大学病院で看護師をしていた門田氏は、姉から声を掛けられ、パートとして父の創業した田中製作所に入社した。その後、父と母の思いも知りつつも、経営方針をめくり意見が

【第1分科会】(愛知同友会)

次代に輝く女性経営者のあり方

～地域に生きる女性として、地域と共に歩む～

報告者:越野裕子氏 (株)yu ko-ne 代表取締役)



越野さんが結婚を決めた時、嫁ぎ先が営んでいたイタリアンレストランが大きな負債を抱えていることがわかりました。越野さん自身が銀行から競売物件となったそのレストランの買取りを薦められ、「何もしないで後悔したくない」と決意し、レストランの経営が始まります。

地元の食材を使ったチーズケーキがいちのみや食ブランドの認定を受けたり、ママ達が集いやすいビュッフェ形式にしたり、店内の一部を貸し出す起業支援をしたりと様々な経営努力を重ねます。また、働きづらい環境のお子さんに働く場を提供するなど、企業としてできる地域との関わりや社会貢献も大切にしながら経営を続けていらっしゃいます。



右が報告者の門田氏

対立し退職。

時間の経過とともに母との関係も緩和し、再び姉の勧めで田中製作所にパートとして再入社した。しかし、田中製作所に復職すると、リーマンショックに見舞われ、仕事が激減することに。幸いにも融資の返済が済んでいたため、会社を閉めるかどうか選択を迫られるも、「田中は必要とされている」と経営者である母は会社の継続を決意する。

門田氏は事業継承をする方向でパートから正社員(取締役)になり、平成25年に同友会に入会をした。

看護師時代に学んだナイチンゲールの「看護覚え書」と同友会の「労使見解」は方向性が同じだったため、人を生かす経営を読み解くのに苦労は無かったという。さらに、経営指針書の作成にあたり、自社の経営課題が浮き彫りになる。

経営革新計画「熟練工のスキルのシステム化」「生産性の追求」「品質の追求」「経営の見える化!」「労働環境の見直し」「労働条件の見直し」一つずつ課題を解決しながら経営指針書の定着を図った。

門田氏は平成29年、満を持して代表取締役に就任。

グループ討論では、事業承継について深く話し合った。

内容は、覚悟が必要との意見に覚悟ばかり求めたら担い手がいなくなる。前任者が課題をクリアにして引き継いでもらうのが良いとの意見に対して、課題が残っているからこそ、後継者の思いが発揮されるのでは?との意見など、対極の意見が活発に取り交わされた。

門田氏は同友会から学んだことは「経営者の姿勢」と「経営者の責任」と語り報告を締めくくった。

(むさし野地区会 江崎浩史 記)

【第6分科会】(広島同友会)

わたしたちはここ(尾道)で生きていく

～地域の元気は私たちの手で!～

報告者:神原栄氏(有浪漫珈琲 代表取締役会長)・
豊田雅子氏(NPO法人尾道空き家再生プロジェクト 代表理事)・
藤井直美氏(10月のさくら 代表・パティシエ)

事例報告のあった尾道市は、かつては海運業で栄えたものの、車社会の現代においては、細い坂道が多く生活には不便で、高齢化で空き家が増え、町の空洞化が進んでいます。一方で人口13万人に対し年間680万人の観光客が訪れるというポテン



神原栄氏

シャルの高さもあります。四国今治と本土尾道をつなぐ「しまなみ海道」の開通も追い風です。古い空き家の再生をキーワードに、そんな尾道をさらに魅力ある街として発展させたい!と取り組んでいる事例報告でした。「生まれ育った尾道が好き。ここをもっとにぎやかにしたい!」と、たった一人の女性の思いから広がる活動の輪。「人がいない、お金がない」でも、廻りを巻き込む力があれば、思いはカタチになっていきます。

「もともと知名度の高い尾道だからできることだよな!」そうでしょうか。これだけポテンシャルの高い尾道に大手企業が参入しなかったということは、車社会が成り立たない立地が見限られたということ。それを魅力と思えるかどうか。『中小企業憲章』では『中小企業は社会を牽引する力であり、社会の主役である』とうたっています。でき



藤井直美氏

ない理由を探すのではなく、できることから始める。最初から大きく成功したいと願わず、社会からアテにされる企業活動を地道に、それが我々中小企業の生きる道。一方で、思いにとられ過ぎて、つい利益追求がおろそかになりすぎる。女性経営者のサガと言えるかもしれません。

(中部地区会 岡部千里 記)



豊田雅子氏

【参加者アンケートより】

人間力は無限で、そこには人を助けたいという本能がある。縁のある人と出会い、その人に合う仕事を作っていく。不平不満を言っていると倍になって自分に返ってくると、何事も前向きにとらえる幡さんの人間性が魅力的で力をもらいました。(3分科会)

相手を信じて任せ褒めてあげること。相手を褒める為には自分も褒めること、自分を信じること、たとえ結果が悪かったとしても頑張ったことを褒めてあげる。(3分科会)

相手にも思いがある事、言葉にしないと伝わらない事、コミュニケーションの見える化、わかっているようでできていない事ばかりでした。まずはしっかりと相手に伝わる言葉で話をする事を実践します。(5分科会)

記念講演は素晴らしかったです。同友会の連携で地方から日本の国を変えていく!そんな思いを改めてさらに強く持ちました。自分ももっと謙虚な気持ちで事業を進めていかなばと、痛感しているところです。(記念講演)

地場産業への思いは、都心とは違う熱意を感じました。発想の展開が色々な人から受け継ぐことができたことなど、素晴らしい活動になった事にヒントをもらいました。感動的でした。(記念講演)

埼玉の元気を創る 中小企業家

高橋通信(株) (大宮中央地区会)

埼玉県さいたま市北区宮原町3-510-2
TEL:048-782-7911
FAX:048-782-5244



「起業7年・同友会歴9年」

入会は勤務していた会社の経営者に勧められ2010年から例会に参加され会員企業の経営者と出会い、話をしつゆ中で起業を決意して2012年6月からは創業者として参加され現在では、地区会内だけでなく、県の理事会・社員教育委員会にも参加され、全国行事にも意欲的に参加され経営への学びを深められています。

「起業1年目で経営指針セミナーを受講」

経営者としての学びへの起源は「経営指針の成文化」への取り組みから、まだ起業したばかりで経営経験は無し、前期の実績は無し、取引先や見込みも確定していない状態での事業計画の作成は雲を掴む様な実感のないもので、経営理念・企業使命などの用語も初めて耳にする事ばかりの中、セミナーのグループ長や受講者の仲間達に支えられ経営に向かい合い、悩み、意識を切り替えて初めての経営指針の成文化をされたそうです。起業前は「何のために経営をするのか?」という事は深く考えたことはなく企業の代表者としてのスタートとしてはかなり厳しい洗礼であったそうです。

「有言実行のバイタリティーの源」

入会時の高橋氏は40歳代でしたので青年部に参加され同年代の経営者と膝を突き合わせ腹を割った学び合いから多くの力を得たようです。指針の成文化により自社の進むべき道も明確になり、後は実行するのみと腹をくくり、今まで積み上げた経験と体力、それを行動に移し目標達成に挑む志を立てたそうです。(余談ですが、同氏は社会に出て某ファーストフード店のバイト中に参加したフライドポテト提供サービスの全国大会で準優勝や某Jリーグチームの入団テストにもエントリーし一次審査合格など現職以外にも多彩な特技をお持ちです。)

「経営者として2度目の経営指針セミナーを受講」

最初の経営指針の成文化から一年間、起業し代表者とし

て経営する中で指針に違和を感じ、再度の受講をされました。『誰の為の仕事なのか?何のための会社なのか?従業員と経営者はどうあるべきなのか?』を分析し直し、繰り返し自身に問いかけて、現在の経営理念に修正された事で、事業も毎年順調に業績を伸ばし、経理の奥様と従業員2名の少数精鋭でありながら、顧客は全国に展開し、仕入れ取引メーカーからはエリア売上最優良企業として幾度と表彰されてという実績に至っています。



「社員共育とブレインゲーマネージャーからの脱却」

八面六臂の活躍をされている高橋氏ですが、現在の経営課題は組織の増強であるそうです。経営理念の実現には新しい人材確保と従業員の成長が不可欠であるという思いがあり、『自社の“志”を引き継ぐ仕事』を任せられる社員を育成しないと、代表者が経営に専念できる組織にはできないと考え、新卒採用などを含めた新たな人材の募集・採用・育成に重点を置いているそうです。人材の採用に関しては未経験者を採用し自社で育成するという対応を取っておられるそうです。狙いとしては、自己流の作業で各々が仕事をするのではなく、自社の作業方法で自社の仕事をお客様に提供する事で同一の目的・視点を持って、現行の作業に対しての作業効率や改善案について意見交換が出来、社員全員が向上心を持てるそうです、またIT企業としては道具や材料に関しての情報も重要な事なので社員と展示会などに赴き、見識を深め広い視野を持てる研鑽の場も設けて自社ビジョンの達成に向けた社員共育もされているそうです。

お話を聴き常に躍動し自社の進む道を切り開いて勇往邁進する経営者の姿を感じました。

(大宮中央地区会 鈴木光義 記)



▲2度目の受講となる、2014年度 経営指針発表会にて

各地区会で開催された例会をご紹介します。

【大宮南地区会 6月例会】

その経営課題、ひとりで解決できますか？

～本では学べないその答えが、大宮南にはある～

報告者：出野哲也氏（㈱大宮鍍金工業 代表取締役）



新年度初回の例会は新会長の出野哲也氏による報告でした。

出野氏のこれまでの経営課題とそれに対しての実践内容、また同友会に対する思いを大いに熱く語っていただきました。

実践内容としては、例えば大胆に人を入れ替えたりシステムを大きく変えたこと、また経営計画を作成・発表することで会社の方向性を共有し克服したことなどを報告いただきました。

最後に、「同友会入会后すぐに同友会で学びを深めていたらもっと違った今があったかも。是非会員の皆様は学びの機会を自ら得て自社の経営に生かしてほしい」と話され、新会長としての決意と共に、皆を大いに鼓舞した報告でした。

その後の業種別等に分かれたグループ討論を含め、新年度初回到に相応しいフレッシュな雰囲気のもと、持ち帰る部分が多い充実した例会となりました。（山市祐太 記）

から次へと現れる課題も新しい取り組みでどんどん乗り越える、知性と行動力のある満石さん。青年部では早くも全国に飛び込むなど今後の活躍が非常に楽しみです。

ラストは㈱三協建設 専務 村里忠輔さん。

祖父が創業で、現在は父の経営する会社の専務をされています。学生の頃は「喋る」を仕事にしたいと思ったと言うだけあって、堂々たる立ち振る舞いと落ち着いた話し方は流石の一言。若いころから「三代目」を期待されて育ったプレッシャーから一度退社してしまうも、

周りの愛情に支えられ再入社。同友会活動を通して経営の本質を学ぶという力強い宣言をされました。

全体を通してとても前向きな新入会員の報告に、西部地区に新しく熱い血が流れていることを感じる例会となりました。

（星山忠俊 記）



【むさし野地区会 6月例会】

「人の心を大切に作る」共育で人は変わる！ ～必見!! 共育の悩みは今日で解決～

報告者：増田 幸代氏

（㈱東上セレモサービス ベルセゾン チーフマネージャー）



むさし野地区6月例会は社員教育委員会が担当の例会が行われました。報告者は当地区会員である小山秀朗氏の（㈱東上セレモサービス ベルセゾン チーフマネージャー増田幸代氏）でした。例会タイトルが経営理念の一部だそうです。報告では経営者ではなく中間管理職という立場で「部下は自分の部下でなく、会社からお預かりしている」という意識のもと、仕事の質問に対して部下が自主的に物事を考え解決に導き今後柔軟に対応できるようにただの質問よりも、間違っても解決方法を考えさせて、指示待ちにならないように気を付けて伝えているとの事。一生に一度の大会に携わる仕事だからこそ、現場では上司と部下は関係なく同じ土俵に立ち、同じサービスを提供する事も部下に普段から伝えているそうです。これは業種関係なく大切な事ではないでしょうか。会社全体で、共に育つ事で部下の人間力も育て上司も学び育つ、それが経営者ではない管理職の意識の中にもあるの

【西部地区会 6月例会】

『新入会員報告』

報告者：水野美和氏（ミズノ㈱代表取締役）・

満石晴太氏（㈱グリーン設備 専務取締役）・

村里忠輔氏（㈱三協建設 専務）



西部地区6月例会は西部地区会恒例の新入会員報告でした。3名いる報告者のトップバッターはミズノ㈱ 代表取締役 水野美和さん。

4人姉妹の末っ子としてお姉ちゃんたちに揉まれて育ったことでタフネスな精神が経営に活かされているようです。1級

建築士の資格を持ち働いていた水野さんは建材屋を営む父の急死から事業承継へ。持ち前の人柄で社員さんとの信頼関係も直ぐにできました。同友会に同じ業界の同友会員さんのお誘いから入会。経営者としての学びをしたいと意欲的な報告でした。

2番手は㈱グリーン設備 専務取締役 満石晴太さん。バイクや海外旅行が趣味のアクティブな満石さんは父の事業を承継する予定で入社。同友会歴半年にもかかわらず同友会員の企業とコラボレーションして商品開発をしたり、次

で「人の心を大切に」という自社の理念が社員にしっかり脈々と浸透していくというメッセージのように感じました。参加者は自社の社員にも増田氏のような社員、パートナーにするため共に育つ事の重要性を学び持ち帰る事ができた例会でした。(遠藤雄大 記)

【東部地区会 6月例会】

社員の健康が会社の未来をつくる ～健康経営は経営者の決断～

報告者:石原志津子氏〈エイジングケアらしく 代表〉



例会テーマは「健康経営」。最近よく聞く言葉ですが「今ひとつイメージが湧かない。コストがかかるのでは?」。そう思っていないですか?

そんな我々に健康経営アドバイザーの資格を持つ石原氏が事例も交え、分かりやすく説明いただきました。

社員の健康向上が生産性の強化につながり、また、人材採用への有効な手立てとしても「健康経営は企業存続につながる重要な要素」とのこと。その為には「自社でできることから始める。健康経営に取り組むには経営者の決断が大切」と石原氏は語ります。

グループ討論では、自身が健康診断を受けていない経営者が多くいることが分かりました。会社を成長させる為に心血を注ぎ、自身の健康は二の次になってしまう。「いや、社長の健康あっての会社・社員ですよ」と気付かされた経営者もいたのではないのでしょうか。

懇親会の参加者からは更に突っ込んだコメントも…「自分を管理できない人間が社員を管理できる訳がない」。社員・経営者の健康が会社発展の為にいかに重要かと改めて気付かされた例会となりました。(西野隆 記)

【川越地区会 6月例会】

自社の明るい未来が見えて来る! ～経営数値の分析は、大きなビジョン実現のために～

報告者:永井義昭氏〈メガワークス㈱ 代表取締役〉

川越地区会2019年度初の例会が6月18日18時30分よりウェスタ川越にて開催されました。

報告者は、東彩地区会会長のメガワークス㈱ 代表取締役永井義昭氏。とても熱のこもった素晴らしい報告でした。

以前の永井氏は資金繰りにも苦勞し、経営は追い込まれて苦悶していました。会社の経営が悪化する中、同友会に入会して、入会の翌年には経営指針セミナーに参加しました。

そこで現実に向き合いました。経営と向き合い、社員と向き合い、数字に責任を持つということに気づきました。

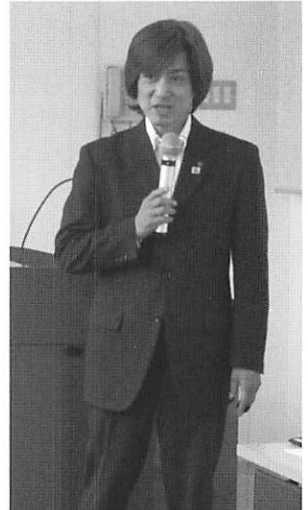
永井氏の会社は、社長が従業員を思い、従業員が社長を思っている、相思相愛で理想的な関係でした。

また同友会の仲間たちや同友会での経験が経営にプラスになりました。会社がだめになりそうだったところからやり直せたのには同友会が深く関わっていました。

経営面では、経営数値の分析をすることによって、会社の現在の状態が把握でき、また今後の経営方針を決めることができるようになりました。

報告後のグループ討論も白熱し、参加者から出された質問にも丁寧にユーモアを交えながら答えて頂きました。

2019年度初の例会は成功に終わり、2019年度川越地区会は良いスタートが切れました。(山口和宏 記)



【彩北地区会 6月例会】

経営理念を成文化するだけの為に 経営指針セミナーに参加するな!

～想いと経営課題に本気で向き合い、見出したものとは?～

報告者:山本成年氏〈山本工機㈱/代表取締役〉



彩北地区会設立後2回目となる単独例会は、同友会の骨幹の一つである経営指針セミナーを修了し、著しい成長をみせる山本氏から貴重な報告をいただきました。同友会入会前の苦勞から次第に感じる自身の経営姿勢への疑問が入会のきっかけとなり、指針セミナー受講に至ったと言います。

理念は人に聞いて作るものではない、本気で自分の想いと課題に向き合うことで作り上げるものだと熱弁する姿は、参加者の心にも響いたことと思います。自社に合った解決策、出来ることを当たり前に行うことが大切と言い、無理のない計画と小さな積み重ね、そして諦めない心の大切さを改めて教えてくれた素晴らしい報告でした。

グループ討論もたいへん盛り上がり、まだ慣れない彩北の発表者にとっては時間が足りないくらいのようなのでした。スポンジのように吸収力のあるこの新地区の未来を期待できる

例会になったと思います。

会場は、彩北12名、ゲスト4名、他地区会より12名、計28名が参加し、会員数19名の彩北地区会にとっては盛大な例会となりました。設立準備委員会から今日まで、他地区会の皆様からいただいたご支援に改めて感謝申し上げます。有り難うございました。(卯都木克有 記)

【戸田・蕨 地区会 6月例会】

業歴16年凄腕営業マンの告白

報告者:木村亮介氏
(東京海上日動あんしん生命保険 東京第二支社 ライフパートナー)



MDRTとは、卓越した生命保険・金融プロフェッショナルの組織であり手数料もしくは保険料で一定の基準があり、およそ上位「2%」の優績者であると評価されています。

このMDRT会員である

木村氏の報告は、「営業ノウハウ」というハウツー物であり、実践報告をする普通の例会とはひと味違う内容と思われました。

木村氏が最も伝えたいのはノウハウそのものではなく「1つでもいいので実践すること」とのことです。新しいことに取り組んでも1年後に続けている可能性は、僅か「2%」。木村氏の成功は、失敗を繰り返しながらも、学びを全て実践した努力の賜物ではないかと感じました。

グループ討論のテーマは「知識を営業の成果に移すためには何が必要か?」。トップセールスマンになるには、本日の報告をいかに自社に落とし込んで実践するか、白熱した議論となりました。

大切なのは、ハウツーの先にある「努力して実践すること」。まさに同友会らしい報告でした。(峯岸孝浩 記)

2019全研 盛り上がってます!!

10月29日に大宮ソニックにて開催される2019全研。皆様、参加登録はお済みでしょうか?すでに第6分科会は定員となり、盛り上がりを増しています。

全研実行委員会は毎回40名近くのメンバーが集い、全研成功に向けて、毎回、活発な論議が交わされています。経営課題の突破口を開く全研とすべく、各分科会の作りこみも熱を帯びてきました。ゲストを含め、500名参加の一大研究集会とすべく、ぜひご協力をお願いします。

今年度、全研実行委員会では『のぼり』を作成しました。カラフルなのぼりが例会等で掲げられ、さらに祭典ムードを盛り上げます。

また、初の試みとしてPRカードを作成しました。各分科会バージョンと基調講演バージョンがあります。ぜひ全研へのお誘いの際にご活用ください。



中小企業家しんぶんをネットで読む

e.doyuでは中小企業家しんぶんに掲載された記事を読み返すことができます。

e.doyuにログインし、左側のメニューに表示される「中小企業家しんぶんバックナンバー検索」をクリックすると、毎号1面に掲載されているコラム「円卓」が表示されます。右側の「最近の紙面から」はクリックできません。

中小企業家しんぶん



記事を読むには「全文記事検索」と書かれているボタンをクリックします。



すると、ユーザー名とパスワードを求められます。知らない? 配達されている中小企業家しんぶんのタイトル下をご覧ください。確認できましたか? 入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、ひまわりの絵がある画面に変わります。

記事内容の検索が目的ですから、記事中にある言葉が必要です。

例えば「景況調査」と入力し「Search」ボタンをクリックしてみま

しょう。

発行年月日、号数、記事概要の記事一覧が現れ、リンク色文字のクリックで該当記事全文が表示されます。

記事一覧の順序を変えたい場合は、「画面ソート:」の右側をクリックし、日付などを選択してから「Search」ボタンをクリックしてください。

尚、当記事検索は古くから備わっているシステムのため、掲載されているのは文章だけ。図や写真はありません。また、「検索方法」をクリックで、詳細検索方法のページが表示されるのですが、現在の環境では文字が化けるかもしれません。解決方法は省きますが「(ブラウザ名 エンコード)でググる(googleで検索する)と見付けられると思います。文字化けが解決しても説明文を難解に思われる方もいるかもしれませんが…。

中小企業家しんぶん

検索方法: 検索
表示件数: 10 表示形式: 日ソート

この記事を読んでくれた人だけに内緒で(^x^)

ユーザー名: shinbun パスワード: Mdwxfys4

(中部地区会 矢澤敦臣 記)

新たな辞書の1ページ 新入会員紹介 (7/1~8/1)



中島大輔
 (株)ウォーキング
 むさし野地区会
 軽貨物運送業、住宅等の抗菌・防
 カビ等の施工業、カジノ関連事業



金子篤史
 (株)アースネット
 川越地区会
 墓石、仏壇、終活にともなう
 不動産取扱い



<登録変更>
歌川優子
 (株)フラッグス
 埼玉地区会
 ゴルフスクール運営、コンサルタント、プ
 ロゴルファーマネジメント、用品の販売、
 スポーツイベント企画・運営等



<登録変更>
池田真之
 (株)礎
 東部地区会
 介護保険事業(居宅介護支援事業、福祉
 用具貸与・販売、住宅改修事業、訪問看護
 事業、通所介護事業)



片山上総
 (株)KTコーポレーション
 彩北地区会
 在宅介護サービス



成田透
 (株)成心仮設
 西部地区会
 足場工事



鈴木津津
 三友(株)
 戸田・蕨地区会
 海外輸出販売、日本国内卸
 し販売。運輸業務



<登録変更>
星弘美
 社会保険労務士法人
 第一経営
 北部地区会
 社会保険専門業務



中澤正宏
 INSPIRE(株)
 川越地区会
 障害福祉サービスの中で、就労
 支援に特化した施設の展開。



松村幸子
 (株)H&H Connections
 大宮東地区会
 結婚相談所



生沼和明
 (株)わくわく
 東部地区会
 地域密着型通所介護事業、
 地域密着型コミュニケーション
 事業



宮田靖央
 首都圏物流事業協同組合
 戸田・蕨地区会
 企業向けETCカード、ガソリン
 カードの発行、管理業務。外
 国人技能実習生受入れ。カー
 リース、損害保険代理業等。



久保田 陵一
 (株)CAREG
 東彩地区会
 訪問看護ステーション

会員information

《住所・TEL・FAX変更》

さくら地区会 (有)絆コーポレーション 内田恵三会員
 〒360-0037 埼玉県熊谷市筑波2-54 オーキットビル2F
 TEL:048-526-2612 FAX:なし

《住所変更》

大宮南地区会 (株)サイエイ 福島隆会員
 〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-13-1-1102

《TEL・FAX変更》

むさし野地区会 (株)富士見グリーンガーデン 糸賀淳会員
 TEL:048-423-8161 FAX:048-423-8162

《TEL変更》

東彩地区会 ワクワクはたらく(株) 大岡美由紀会員
 TEL:080-4175-0909

《役職変更》

さくら地区会 タカネ風土 (株)四季の湯温泉 杉田茂実会員
 代表取締役会長へ
 むさし野地区会 秋元自動車(株) 秋元健会員
 代表取締役へ
 埼玉地区会 ソニー生命保険(株) 埼玉LPC第一支社
 大塚治会員 ライフプランナーへ
 川口地区会 又新金属(株) 中根幹雄会員
 取締役 副社長へ
 川口地区会 (有)太田不動産 太田茂吉会員
 取締役会長へ
 埼玉地区会 (有)荒井製作所 荒井廣良会員
 顧問へ

◆ 訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

東彩地区会 藤波達也会員のご尊父が逝去されました。

同友会日誌 6月1日~30日

- 1日(土) 社員教育委員会合宿~2日(日)
- 3日(月) 彩北幹事会、さくら幹事会、東彩幹事会
- 4日(火) 川口幹事会、大宮東幹事会、川越幹事会、西部幹事会、
大宮南幹事会
- 5日(水) むさし野幹事会、浦和幹事会、中部幹事会
- 6日(木) 共同求人委員会、北部幹事会、東部幹事会、戸田・蕨幹事会
- 7日(金) 正副代表理事会議、仕事づくり委員会、ファミミーティング
- 10日(月) 障害者雇用推進委員会、彩北例会
- 11日(火) 経営指針づくりセミナー【導入編①】
- 12日(水) 経営労働委員会、広報委員会
- 14日(金) 大宮中央幹事会
- 17日(月) 政策委員会、埼玉地区会・例会、さくら例会、
東彩例会
- 18日(火) 川越例会、大宮東・大宮中央合同例会、川口例会
- 19日(水) 浦和例会、むさし野例会
- 20日(木) 共同求人共育部会、北部例会、戸田・蕨例会、東部例会、
大宮南例会
- 21日(金) 中部例会
- 24日(月) むさし野正副会長会議
- 25日(火) 第43回新入会員オリエンテーション、社員教育委員会、
西部例会
- 26日(水) 第1回地区会長会議、青年部幹事会
- 27日(木) 全研実行委員会
- 29日(土) 経営指針づくりセミナー【導入編②】

会員数

2019年7月30日現在

地区会名	会員数	地区会名	会員数	地区会名	会員数
川 口	47	大 宮 南	90	北 部	37
戸 田 ・ 蕨	54	西 部	45	さ くら	81
浦 和	81	む さ し 野	123	川 越	88
大 宮 東	43	東 部	130	東 彩	59
大宮中央	39	中 部	50	彩 北	19
		埼 葛	54	計	1040

編集後記

平成から令和になり令和初月にあたる5月には異例の30℃を超える月となりました。我々中小企業にとっても熱くなる！時代にしなければなりません。

さて私も今期から初めて広報委員のメンバーとなり今、ペンを取っています。実は文章を書くことが苦手とする私が今、最も苦手なことにチャレンジをしている最中なのです。何故ならば断わる事は簡単ですが、まずはやってから考えよう！という自分の信念に基づいて行動しているからです。この令和の時代に自分をさらなるステージに上げる為には、自分自身が変化をし成長することが不可欠だと思います。

同友会の仲間の皆さんと各々の新しいステージに上がる事を祈念しております。
 (戸田・蕨地区会 木村亮介 記)

地元大宮上小町でしか味わえない和菓子づくりで地域貢献を目指す



【スポーツ万能で人気者】

中学校時代はヤンチャでよく校長室に呼び出されていたという新さん。

スポーツが好きで、運動会などでは大活躍し、人気者だったそうです。

特に小学校から高校卒業までやっていたサッカーで県内の名門校へ進学。

2年からレギュラーで活躍する腕前でした。

【和菓子職人への道】

高校卒業時には先生にサッカーで進学をすすめられました。将来実家を継がなければという意識の中、和菓子の専門学校に進学しました。

そこではクラスメートのほとんどが後継者でしたので、将来の不安もなく、友人作り(遊び)に専念されていたそうです。今でも続く交流はレシピの共有などで和菓子作りに役立っています。

2年間の専門学校生活を経て、修行の為に地元和菓子店に就職。在職中には和菓子作りはもちろんのこと、工程管理など積極的に色々な持ち場をこなし、その経験が今、とても役立っているそうです。

修行時代4年が経った24歳の時、お母様の体調や家庭の諸事情なども重なり、本格的に後を継ぐことを考え家業に入りました。

【奥様との出会い】

結婚は後継者として店を営んで5年が経った29歳の時でした。奥様とは高校時代の同級生で、卒業後に2人を引き合わせたのは母校のサッカー部の全国大会がきっかけだったそうです。明るく優しい感じの奥様は、店内のレイアウトやパッケージデザイン、パートさんの管理などを担当されています。清潔感あふれる店内の雰囲気にも奥様のセンスの良さを感じます。そんな奥様には感謝の気持ちでいっぱいだと話していました。

【同友会の学び】

はじめはお父様が知り合いから入会を誘われた

のですが、あまり気乗りがせず、代わりとして新さんが何となく入る事になり、その時は「人質だった」と感じていたとのこと。入会当初は忙しい毎日ですが、年に数回しか出席できない状況でしたが、例会などで真剣に勉強している会員さん達と接することで仕事での問題や将来のことなど前向きになり、同友会の素晴らしさを感じたそうです。そんな中、同じく和菓子職人として銘菓店に勤めていた弟さんを説得し、一緒にやっていくことになりました。即戦力の導入で時間に余裕ができて、出席の機会も増えていきました。今では、地区の幹事として、さらに深くを学び、仕事のヒントを得ているそうです。

【和菓子作りへのこだわり】

インターネットでなんでも買える時代に、ここでしか買えない質の高いお菓子を追求し、弟さんと大変苦労をされて開発されています。

新商品を作るときは一切の妥協なく試作品を納得するまで作り、気が付くとゴミ袋がいっぱいになっていることも珍しくはありません。店内には多くの種類のお菓子が並んでおり、食欲がそえられるのですが、そんなご苦労があったのですね。実際に弟さんがこだわって作った白玉ぜんざいをごちそうになり、とても美味しかったです。特に白玉はいままで食べたことのない食感でした。甘さの繊細な調整や白玉の絶妙なフワフワ感とは他では真似できないと自信の逸品となっています。



【地元で引き継がれる味】

生まれ育ったこの町で、季節や人生の節目に美味しい和菓子を提供し、笑顔がたくさん作りたいたいと考えた新さん。

嬉しく感じることは、子供の頃食べた味を求めて、年齢を重ねても再び、来店して下さるお客様が多いことだそうです。そして、その味はその子供達へと代々引き継がれていきます。確かに、子供時代の美味しい味は忘れることなく、場所を含めて懐かしめるのではないかと思います。

また、お年寄りや体の不自由な方で来店の難しいお客様には配達もしており、地元愛の強さを感じます。お店や工場の雰囲気も活気にあふれ、特に工場は清潔感がある印象が強かったです。

これからも家族一丸で地元で引き継がれる和菓子を提供していかれることと思います。

(大宮南地区会 佐藤正幸 記)



新 功一

あたらし こういち

和菓子 あたらし
大宮南地区会
埼玉県さいたま市大宮区上小町1031
TEL:048-642-5817
FAX:048-642-5927



埼玉同友会 広報委員

委員長 鈴木一朗	委員 川口 坂本武蔵	大宮東 柴田大智	水野美和	中部 矢澤敦臣	東 彩 斉藤寿和	制作担当 栢込博久
副委員長 酒井 啓	戸田・藤 石井孝徳	大宮中央 鈴木光義	むさし野 江崎浩史	原田泰僧	彩 北 折原昌司	印刷・製本 加藤早苗
小田 明	浦 和 木村亮介	大宮南 加藤早苗	東 部 宇野碧留	埼玉 松本賢二	早川良史	事務局 古川佳子
中山晴喜	三友哲哉	西 部 印牧政彦	藤元天美	北 部 東 祐章		
			島袋輝仁	さくら 池田恵津子		